

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー
第2720地区
2022-2023 年度
ガバナー月信

12

[2023.06]



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2720 地区
2022～23 年度 ガバナー

堀川 貴史

4 月の地区大会へのご参加、まことにありがとうございました。

おかげさまで、事故もなく終えることができました。心より感謝申し上げます。

6 月は「ロータリー親睦活動月間」となっております。

今年度の地区スローガン「ロータリーはつながりであふれている～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～」には、それぞれの会員がお互いに信頼関係を高めていくことが最も重要との思いが込められていました。その信頼関係をロータリーの世界は絶対に裏切らない、その先にはどこまでも夢のような世界が続いている、ということを示すだけでも体感していただくこと、そのキーワードが、ロータリーの神髄とも言っている「親睦」という言葉です。私自身も「親睦(信頼関係)なきところに心のこもった奉仕活動はあり得ない、と思っています。会員の皆様方には、クラブ内でもっともっと親睦を深めて、好意的な雰囲気の中で、皆様のアイデアを出し合い、社会のために行動してまいりましょう。

4 月から、3 回にわたって、私が公式訪問時にお話をいたしました、ガバナーアドレスの内容を掲載させていただいております。今回は第 3 回、「ロータリーの変化と DEI ～ ROTARY MAGIC」を

お届けいたします。第 1 回は、「私とロータリー」ということで、私個人とロータリーの関わり、つながりの話をいたしました。人それぞれのロータリーに対する価値観は違っていてもいい、大事なことは、それぞれが、自分の中でその落とし込みができていくかどうかということをお願いしました。第 2 回は、その私たちが身を寄せるロータリーとは？との問いかけに対する私の回答「つながりとネットワークを駆使しながら世界平和を目指している団体です」すなわち「ロータリーと世界平和」という内容を記載させていただきました。そして最終回の今回は、その世界平和を目指すロータリーが大きく変化しているという話と、やっぱり、ロータリーって、素晴らしい世界だった、という話です。

世界平和を目指すロータリーはこれまでも環境に順応しながら 117 年の歴史を積み上げてきました。最近のロータリーの変化を「ロータリーの DEI への取組」という内容でお話いたします。今、DEI という言葉は、ロータリーの専門用語ではなく、世界中の企業、社会、学校が、強調している言葉です。

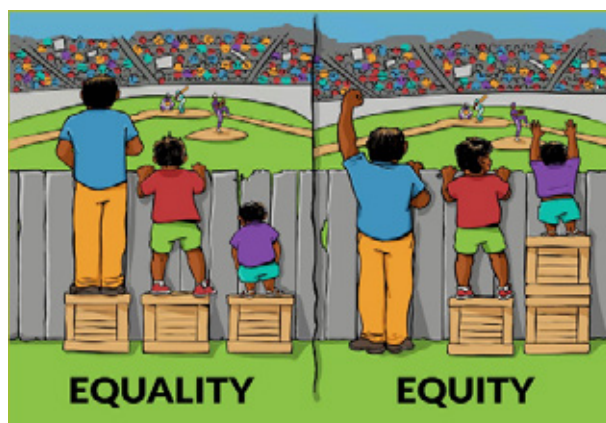
「DEI」の「D」について。Diversity (ダイバーシティ) 多様性という意味です。「私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、

性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします (My Rotary より)」。ということなのですが、ロータリーの歴史の中では、クラブの構成員はいろいろな職業の方が存在し、様々な考え方の会員が必要という、いわゆる、「職業分類の制限」というものが、最近まで存在していました。以前は、1 業種 1 社との考え方もありました。ですから、この多様性という言葉は、そういうロータリーの歴史の中で、それほど違和感なく私たちは受け入れることができると思います。

次に、「DEI」の“E”をとばして、先に“I”からお話いたします。Inclusion (インクルージョン) 包摂という意味です。「私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。すべての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を創造すること (My Rotary より)」。しかしながら、この“I” Inclusion も私たちロータリーが、昔から、最も得意とする“寛容性”という言葉があります。ですから、このInclusion という言葉も、その意味も少なからず理解でき、受け入れることができるのかと思います。

最後に「DEI」の真ん中“E”について。Equity (イクイティ) 公平さ。「ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます (My Rotary より)」。平等と公平の違いを理解する必要があります。【イラスト①】を見ていただいて、

左側は一人一人の背の高さに関係なく同じ踏み台を同じ数量与えてあります (平等: Equality)。

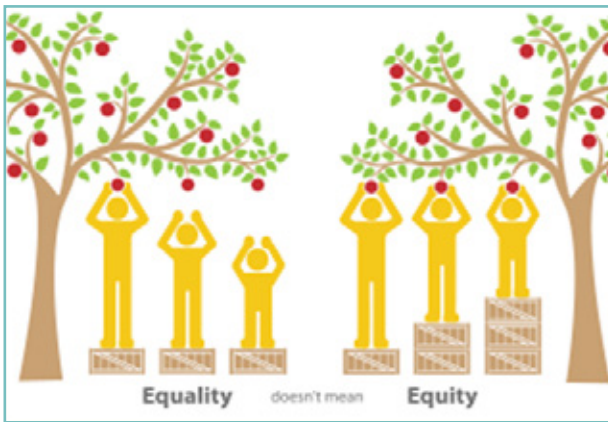


▲イラスト①

結果、野球観戦ができる人、出来ない人ができてしまいます。それに比べて右側は、逆に踏み台の高さを変えることで、全員が同じように野球観戦ができるようになっています。国際ロータリーでも、2019年の規定審議会で国際ロータリーの一人として、ロータリークラブとともに、ローターアクトクラブが仲間に加わりました。そして、ローターアクトクラブのメンバーにも私たちロータリークラブのメンバーと同様に、今年度より、人頭分担金が課せられています。しかしながら、その人頭分担金は、ロータリークラブのメンバーが1人71ドル(1万円弱)に比べて、ローターアクトのメンバーで大学生が基盤となるクラブでは、1人5ドル(700円弱)、社会人基盤のクラブでも、1人8ドル(1,100円弱)となっています。負担する人頭分担金は、ロータリーメンバーの10分の1程度ではありますが、国際協議会への招待(全員ではありませんが)、国際ロータリーの委員会構成メンバーとなり、ロータリー財団の補助金も使用できるようルールになってきています。【イラスト①】の右側のように、踏み台の高さを人頭分担金に例えて考えると分かりやすいかと思います。それぞれの人の機会を均等にしようということです。人によって力を発揮できる環境はそれぞれに異なっていて、その人が十分にチカラを発揮できるよう環境を整えましょう、ということです。

時短勤務、ということに取り組んでいる企業も増えてきました。今や、子育ても社会が協力しながら行うことが当たり前の時代です。親の介護に時間が必要な方もいるでしょう。産休明けの社員を温かく笑顔で迎えられていますか？子育て中の社員の有給取得を快く受け入れていますか？経営者にしかできないことです。ロータリーの仕組みやルールを理解することで、自身の職場への対応もご検討されてみてください。

ロータリーでも、クラブ毎に例会の開催回数、出席の要件、メーキャップの要件等がクラブ細則で制定できるようになっています。皆様のクラブも例会回数や、メーキャップの期間等、独自で検討されて、運営されているクラブも多数ございます。Eクラブ（今はEクラブというカテゴリーはありませんが）や衛星クラブなどもその表れかと思えます。クラブ独自で、今一度ご検討をお願いします。それがクラブ戦略計画です。



▲イラスト②

【イラスト②】をご覧ください。もうお分かりですね、すべての人たちが木の実を取れるように、それぞれに合った踏み台を準備する、という環境を受け入れましょう、そしてそんな環境を、率先して構築いたしましょう、ということです。

以前は、ここで、「DEI」の話は終わっていました。しかし、あるクラブで、このお話をさせていただいた後、ある会員の方からご意見をいただきました。「堀川さん、このイラスト（イラスト②）を

よく見てごらん下さい、左側のイラストでは踏み台の合計は3つ、右側では6つ必要だということですね？不経済ではないですか？」とのご意見でした。「どういうことですか？」とお聞きすると、「最初に、左側の人々が、1段の踏み台を使って木の実を取った後、自分が使った踏み台をその次の人に貸せばいいでしょう、そうすれば真ん中の人には踏み台2段使って、木の実が取れますし、同様に最後の人も3段の踏み台を使って木の実を取ることができますよ。これだと踏み台の数は3つで済みます」という話をいただきました。皆様、どうお感じになりますか？私は、これこそが私たちが掲げる「人に対する思いやりを持って、人のお役に立つこと！」いわゆる「奉仕の理念」であると感じたのです。私は【DEI】ということの説明するために、ルールや枠組みなどをしっかりと理解していただいて、クラブに取り組んでいただこうと、そればかり考えていましたが、様々なルールや、システム、枠組みが変化するとき、もっと必要なことは、「思いやりであり、人の役に立つとする気持ち」であることに気づかされました。その後は、そのお話も付け加えてアドレスをお届けしてまいりました。

そして、それから少し経ったクラブ訪問でのことです。同じように【イラスト②】で「DEI」の話を終えた後、再び、そのクラブの会員の方からご意見をいただきます。【イラスト②】を見ながら、「堀川さん、奉仕の理念はわかりますが、順番が違うのではないのでしょうか？最初に木の実を取るべき人は、一番背の低い人ではありませんか？」というご意見をいただきました。どうでしょうか？これこそが「超私の奉仕」の精神ではありませんか？「ロータリーの変化とDEI」いうタイトルの話は、いつの間にか、「奉仕の理念」「超私の奉仕」の強化という話になっていました。これから訪れる未来において、どんな環境の変化、ルールの変更、枠組みやシステムの変更が行われたとしても、これまで私たちロータリーが大事にして

きた「奉仕の理念」「超我の奉仕」をしっかりとって、乗り越えていくことは容易いことのように思えてきました。

このように、私のお届けしてきたガバナーアドレスは、地区内の会員の皆様のご意見のおかげで、変化し進化し続けてまいりました。あらためて、会員の皆様へ感謝申し上げます。

そして「ROTARY MAGIC」という話で締めくくります。今年度国際ロータリーのジェニファージョーンズ会長のお話を引用いたします。

「2年前、アフガニスタンからの米軍撤退が進む中、一人の会員から、ある若いアフガニスタン人の平和活動家を国外退避させるために力を貸してほしいと頼まれました。最初はどのようにしてよいかわからなかったものの、「ロータリーの不思議な力

(magic of Rotary)」を頼りに、数年前に出会った元ロータリー平和フェローに連絡。1日も経たないうちに、その活動家は退避者リストに加えられ、間もなくヨーロッパ行きの飛行機に乗ることができました。私たちは皆、違う道を歩んでロータリーの一員となりました。父親がロータリアンだったから入会した人もいます。例会に出席するようにと雇用主に頼まれたために入会した人もいます。米国最高裁判所の判決によって入会が可能になったから入会した人もいます。それでも、全員に共通する入会理由がひとつあります。招待されたから、です」

そして今、私たちはロータリアンなのです。

1年間大変ありがとうございました。

2720地区のロータリアンに栄光あれ！

台湾台北 3523 地区との姉妹地区締結完了



▲ 2720・3523 姉妹地区締結

2023年4月15日（土）地区大会の大会決議に基づいて、2023年4月28日（金）国際ロータリー第3523地区（台湾台北）との姉妹地区締結が滞りなく完了いたしましたのでご報告いたします。

今回、3523 地区の地区大会に合わせて、2720 地区から 40 名近いメンバーで訪問いたしました。本大会前日の4月28日に行われた国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会の席で、2720 地区との姉妹地区の締結式が執り行われました。立会人はこの地区大会に国際ロータリー会長代理として参加していただいていた、アメリカのケン・シュパート元国際ロータリー副会長にお願いいたしました。それぞれの地区ガバナー、地区ローターアクト代表が署名して、2 地区の友好的な交流を約束いた

しました。今後の展開が楽しみです。ご尽力いただきました、当地区の大森克磨副ガバナーと3523 地区のゲイリーパストガバナーに、心から感謝申し上げます。

また、同時に、それぞれ 3 クラブが姉妹クラブの締結に至りました。締結されたクラブの皆様心よりお祝い申し上げます。

最後に…、私が持っている幸運に感謝します。



▲ ご挨拶させていただきました



▲ 署名する向井 RA 地区代表



▲ 地区締結文書



▲ 記念にダルマに目を入れました



▲ 2720Japan O.K.REC



▲ 熊本りんどう RC



▲ 肥後大津 RC

2023-2024 年度 地区研修・協議会開催

膳所ガバナー年度の同協議会が、5月14日、日田市にて開かれました。各クラブから800名を超える会員の皆様に登録いただき、初めてのこの人数での日田市での開催に、万全の体制で臨もうと我々スタッフも何度も会議を重ねて参りました。



一つの会場では全ての部門会議を収容できず、大きく4会場に別れバス7台での移動に、ネームの色分けや看板での誘導など工夫を凝らし、各担当者による精一杯の運営でした。駐車場が満車になり遠い駐車場から徒歩でお越しいただいたり、食事スペースが十分に広くなかったり等、参加者の皆様にはご迷惑をかけてしまった部分もあり、大変申し訳なく思っております。どうかお許しください。



午前中は、堀川ガバナーの温かい挨拶や三村ガバナーノミニ、藤田ガバナーノミニ・デジグネートの紹介に始まり、瀧研修リーダーのお話、そして膳所ガバナーエレクトが国際協議会報告と次年度地区方針を発表。メンタルクリニックあいりすの吉田敬子院長による講演「これからの子どもと家族のメンタルヘルス」も、とても興味深い内容でした。



午後は、会場移動後の部門別協議会。部門長さんやガバナー補佐さん、研修委員さんやパストガバナーの方々の話を真剣に聞き、熱心にディスカッションする様子が多数見られました。さらに、大会議場に戻り永田 RI 第3ゾーン RRFC の講演「ロータリー財団の仕組みと役割」です。長丁場に関わらず最後までたくさんの参加者が聞き入っていました。



ロータリーは親睦も大事です。前日より数クラブと数部門の方々が遊船に乗るなど日田を楽しんでいただいたことを聞き、そのことは運営側の我々にとってもとても嬉しいことでした。参加者の皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



📅 今月の予定

2023/06/03(土) 会長ノミニー研修	2023/06/13(火) 八代南 RC 公式訪問
2023/06/04(日) くにさき RC40 周年	2023/06/14(水) 宇土・宇城 RC 公式訪問
2023/06/07(水) 八代 RC 公式訪問	2023/06/17(土) インターアクト指導者研修会 (大分会場)
2023/06/08(木) 八代東 RC 公式訪問	2023/06/18(日) 杵築インターアクトクラブチャーターナイト
2023/06/09(金) 八代北 RC 公式訪問	2023/06/24(土) インターアクト指導者研修会 (熊本会場)
2023/06/10(土) 熊本第 2G IM	2023/06/24(土) 堀川年度引継式
2023/06/10~11 RA 第 3 回会長幹事会 地区研修会	

入退会者のお知らせ

2023年5月22日 現在

入会者 新会員のご紹介をいたします

クラブ名	氏名	職業分類
日田中央	清水 保臣	生命保険
別府中央	深井 孝徳	損保保険
大分	武下 豊	航空輸送
大分臨海	岸 靖博	企画広告
大分臨海	田島 慶一郎	建築
竹田	阿部 健介	地方銀行
津久見	家亀 正行	セメント製造
熊本東	小暮 俊介	農林金融
熊本グリーン	齋藤 義鷹	ラウンジ
八代	福永 良	電気通信業
八代	松島 啓二	海上保険
八代	白水 直樹	貯蓄銀行
八代	田邊 裕之	不動産鑑定
八代	柴崎 政俊	税理士
八代	中野 孝寛	普通銀行
八代南	石井 幸一郎	銀行業
人吉	米田 幸司	商業銀行
水俣	廣瀬 貴子	地方銀行

退会者

クラブ名	氏名	職業分類
日田中央	山口 雄士	生命保険
別府北	中川 喜胤	不動産管理
別府中央	村津 忠久	名誉会員
大分城西	後藤 正直	リース業
竹田	太田 哲也	地方銀行
玉名	野島 洋治	地方銀行
玉名	中嶋 信秀	信用金庫
肥後小国	小畑 明博	普通銀行
肥後小国	村田 大二郎	普通銀行
熊本	富田 正夫	医薬品総合卸
熊本	高野 裕幸	中央銀行
熊本東南	古庄 浩二	総合保険
熊本城東	福島 正継	建築設計

米山功労者マルチプル



佐藤 公一 会員
津久見 RC
(2 回目)



田河 定茂 会員
天草 RC
(3 回目)

2023年4月 会員数報告

グループ	クラブ名	会員数					グループ	クラブ名	会員数				
		年初 (7/1)	当月末	入会者 本年度	退会者 本年度	増減 本年度			年初 (7/1)	当月末	入会者 本年度	退会者 本年度	増減 本年度
熊本県第一	山鹿	13	13	1	1	0	大分県第一	中津	45	48	3	0	3
	玉名	52	53	3	2	1		日田	53	55	4	2	2
	荒尾	43	42	1	2	-1		中津中央	18	18	0	0	0
	玉名中央	12	12	1	1	0		日田中央	40	40	3	3	0
	(4 RC)	120	120	6	6	0		玖珠	15	15	0	0	0
熊本県第二	阿蘇	32	34	5	3	2	大分県第二	中津平成	24	24	0	0	0
	肥後大津	34	32	1	3	-2		(6 RC)	195	200	10	5	5
	菊池	23	22	1	2	-1		豊後高田	37	40	5	2	3
	肥後小国	13	15	3	1	2		宇佐	27	27	1	1	0
	熊本菊南	18	18	0	0	0		杵築	21	23	2	0	2
	熊本'05福祉	13	11	1	3	-2		杵築 one heart 衛星	8	7	1	2	-1
	熊本りんどう	19	19	0	0	0		くにさき	15	16	2	1	1
(7 RC)	152	151	11	12	-1	宇佐八幡	30	31	1	0	1		
熊本県第三	熊本	90	83	4	11	-7	大分県第三	宇佐2001	26	26	1	1	0
	熊本東	39	40	4	3	1		(6 RC + 1RSC)	164	170	13	7	6
	熊本北	5	5	0	0	0		別府	38	39	1	0	1
	熊本東南	43	45	3	1	2		別府北	35	37	3	1	2
	熊本城東	30	31	3	2	1		別府東	41	44	4	1	3
	熊本グリーン	18	22	5	1	4		日出	15	16	1	0	1
	熊本平成	21	23	2	0	2		別府中央	18	19	4	3	1
	熊本水前寺公園	12	11	0	1	-1		湯布院	13	12	0	1	-1
(8 RC)	258	260	21	19	2	(6 RC)	160	167	13	6	7		
熊本県第四	熊本南	62	62	4	4	0	大分県第四	大分	46	49	8	5	3
	熊本江南	55	57	4	2	2		大分東	35	34	1	2	-1
	熊本西南	27	27	1	1	0		大分臨海	43	47	4	0	4
	熊本西	9	10	1	0	1		大分南	29	33	4	0	4
	熊本中央	27	28	2	1	1		大分中央	76	80	6	2	4
	熊本西稜	21	23	2	0	2		大分1985	30	30	1	1	0
(6 RC)	201	207	14	8	6	大分城西	29	33	5	1	4		
熊本県第五	八代	73	77	10	6	4	大分県第五	大分キャピタル	52	56	5	1	4
	八代北	23	23	3	3	0		大分キャピタル Oli Oli 衛星	15	16	2	1	1
	八代南	47	51	6	2	4		2720J.O.K.REC	51	49	3	5	-2
	宇土	14	14	0	0	0		(9 RC + 1RSC)	406	427	39	18	21
	八代東	42	43	2	1	1		竹田	15	16	2	1	1
	宇城	9	7	0	2	-2		佐伯	28	29	4	3	1
(6 RC)	208	215	21	14	7	白杵	30	29	2	3	-1		
熊本県第六	人吉	48	48	2	2	0	津久見	37	38	3	2	1	
	水俣	22	23	4	3	1	豊後大野	12	12	0	0	0	
	多良木	18	20	2	0	2	佐伯 MARINE	29	30	4	3	1	
	芦北	25	25	0	0	0	(6RC)	151	154	15	12	3	
	人吉中央	35	34	0	1	-1	大分33RC+2RSC計	1,076	1,118	90	48	42	
(5 RC)	148	150	8	6	2	74RC+2RSC 総計	2,310	2,370	178	118	60		
熊本県第七	本渡	46	46	0	0	0	※衛星クラブがあるクラブの「会員数」は衛星クラブの会員数を除いた人数を表記しています。						
	牛深	19	20	2	1	1							
	西天草	23	22	1	2	-1							
	天草中央	43	45	3	1	2							
	天草パールライン	16	16	1	1	0							
(5 RC)	147	149	7	5	2								
熊本41RC計	1,234	1,252	88	70	18								